

令和4年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立大野東小学校	校長	谷本 直子	生徒指導主事	江盛 浩司
取組事例名		『自己有用感を高める取組について』			
取組における育てたい資質・能力					
人間関係形成		社会参画		自己実現	
「伝え合い・認め合い」	2	「課題発見・解決学習」	3	「自己肯定感・自己有用感」	1
取組のねらい					
自ら考え、学び合い、高め合う児童の育成～自己有用感を高める学級づくりを通して～ よりよい学校生活を送ることができるように自分の行動を意思決定する力を身に付ける。					
取組の具体的内容			取組の創意工夫 『キーワード相互評価の場』		
<p>・児童が自分の目標や活動記録・評価などを記録し、振り返ることを通して自分の成長を感じ、次の目標を決めるために全校で「成長ノート」を活用している。</p> <p>月初めには、学校全体の今月の目標に対する自分の学級の課題や解決方法を考えたり、個人の課題から月曜日に目標を立て、振り返りをしたりするという取組を全校で実施</p> <p>児童がこのノートを見ることで、以前の自分の姿を思い出し、自分の成長を感じ、自信と安心感をもって生活できるように取り組んでいる。</p>			<p>・自分の記録だけではなく、友達からのメッセージや教師からの評価（価値付け）、保護者からのメッセージを残している。</p> <p>・活動前の準備段階から活動後までの中で、友達のよかったところをカードに書いてプレゼントする相互評価の場を設定した。友達と関わりながら活動する楽しさや、友達に頑張りを認めてもらえる嬉しさを実感できる。</p>		
 <p>・委員会掲示板を作成し活用することで、自分の学級の課題を発見し、解決しようとする取組むきっかけを作ることにもなっている。</p>					
取組の成果と課題					
<p>○以前の自分との違いを感じることができ、自分の成長を感じたり、自分のよさを見つけたりすることができるようになった。</p> <p>○友達や教師からありがたい言葉や、友達へアドバイスをすることにより、自分が友達やクラスのために活躍できていることを感じやすくなった。</p> <p>○友達との認め合い、保護者や教師からの評価を残すことで、自信と安心感をもって生活できるようになってきた。また、友達のよさを見つける視点が広がり、児童同士のつながりもより深くなった。</p> <p>●委員会掲示板に貼り物が常に貼ってあることで、見慣れてしまい変化が感じにくくなるがあった。</p>					